

奄美市内の事業所で働くインターンシップ生たち(右2人)＝2014年撮影

インターンシップ拡大へ 人材誘致、企業活性化の一助に

学生100人分の助成金用意

奄美市は2015年度、インターンシップ(職業体験)の補助制度を拡充し、受け入れ体制を拡大している。昨年度まで確保していた学生40人分の助成金予算を、15年度は学生100人分400万円に拡大。㈱カケハシスカイソリューションズ(東京都)が展開するインターンシップ事業「島キャン」で来島する学生へも助成適用を広げ、U・I・タンの人材誘致や企業の活性化につなげたい考えだ。

奄美市



同市は12年度にインターンシップ制度を導入し、旅費と宿泊費の一部を助成してきた。12年度3人、13年度30人、14年度34人を受け入れた。市では学生確保のため、独自に制度内容を全国の大学400校に告知。市内36の受け入れ協力事業所に学生を送り込んでいる。

15年度から助成内容を見直し、受け入れ企業に対して学生1人当たり1万円、学生には旅費1万円のほか、宿泊費として1泊2千円を10泊を限度に支給する。一方、奄美群島では14年度からカケハシ社の「島キャン」でインターンシップに訪れる学生が増えている。同市の制度拡大を受けて、カケハシ社も奄美市との連携を深めていく方針だ。

市商工観光部商水情報課労政水産係の畑健一郎係長は「学生が来てくれると企業も地域も活気付く。13年度にインターンシップへ参加した学生が今年、市内の事業所に就業したこともあり、U・I・タインも期待できる。島キャンだけでなく市に直接申し込む学生も増えている。今後多く

の学生に来てほしい」と話した。